

令和2年11月

教員免許更新制や研修を巡る制度に関わる書面ヒアリング

国公立幼稚園・こども園長会
会長 箕輪 恵美

このたびは、中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会においてご議論されている教員免許更新制や研修を巡る制度について、発言の機会をいただき感謝申し上げます。

免許更新制の目的やこれまで実際に免許更新を行ってきた教員の受講後の様子や受講しての感想、また、新型コロナウイルス感染症への対応も含めたこれからの時代の教員の働き方、という視点から、本会からの意見を申し上げます。

1 教員免許更新制度の成果について

○免許を取得してから数年経ち、悉皆研修が少ない中堅教諭が免許更新の対象になることが多いため、受講した教員にとっては幼児期の教育を学び直す機会となっている、という実感が現場にはあります。そのことから、教員免許更新制度の趣旨である「最新の知識・技能の習得や習得した知識・技能を現場で活用すること」には一定程度の効果がある、と思われま

2 教員免許更新制度の課題と改善策について

○受講経験のある教員からは、受講するにあたり不都合や疑問があった点がある、と意見が寄せられています。具体的には、講座の内容も受講料も申し込み方法もまちまちであること、申し込みが朝から始まり申し込み順で締め切られる講座に仕事をしながらの申し込みが難しいこと、数多くの講座から選ぶことが難しく結局出身校の講座や身近な教員が受講した講座を選んでしまうこと、などです。

免許更新が教員の資質向上に資するものであるためには、

- ・全ての講座が、仕事をしながらでも申し込みしやすい方法にすること
- ・受講内容の質の担保がなされ、どの講座を受講しても受講後に現場で活用できる最新の知識・技能が習得できるようにすること
- ・受講料について、受講者の負担軽減について具体策を講じること

の3点について改善を図る必要があると考えます。

○幼児期の教育に携わる教員が質の高い教育を提供するためには、幼児一人一人の丁寧な理解に基づいた適切な援助を考えて実践すること、日々の教育活動を真摯に振り返った上で翌日の環境の準備や活動の流れを考えることが必要です。幼稚園やこども園では、保護者の思いに寄り添いながら共に子供の成長を支えることにも多くの時間を割いています。加えて、必要な打ち合わせや学級事務、資質向上のための研修にも時間を費やし、さらにはコロナ対応の職務も増えたこともあり、その上で「免許更新」に時間を割くことは受講者にとっては負担が以前より大きくなると思われま

受講する教員の負担をできる限り軽減するために、

- ・現職研修など既存の研修を受講することで免許更新ができる仕組み作りをすること
- ・各園にオンライン環境を整備し、開講する側も授業のオンライン化を進める等、受講者の移動時間を削減する具体策を実現すること

の2点について改善策を図る必要があると考えます。

以上